



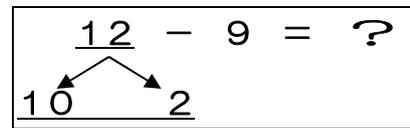
算数の話 1

繰り下がりのある引き算

- ◎ 「12-9」「15-8」などの繰り下がりのある引き算。「8-3」「6-5」のような引き算に比べると、やや難しくなります。これについて、通常は次のように指導しています。

12-9の計算の仕方

- ① 「12」を10と2に分解する。



- ② 「2」は後に回して、先に「10-9」を計算する。 $10-9=1$

- ③ 後回しにしていた「2」を持ってきて、足す。

$$\underline{1+2=3} \quad \text{なので} \quad \underline{12-9=3}$$

- ◎ ところが、この方法だと、「8-3」「6-5」のような引き算とは違うやり方になります。その上、「引き算なのに足し算をしなくてはいけない」ことになり、お子さんによっては混乱してしまうこともあるのです。ここでつまずいて、低学年のうちに算数の勉強が嫌になっても困りますよね。

- ◎ 低学年のうちには、繰り下がりがあってもなくても、引き算のやり方を変えないほうが、スッキリとわかりやすくなるお子さんもいるでしょう。ただし、この場合は、おはじき等の具体物で「12-9」などの計算を十分に経験した上に、記憶してしまうくらいに繰り返し計算問題をすることが大切です。

学び方は子供たち一人一人違います。教科書には、大多数の子供たちが理解しやすい方法が書かれてありますが、そのやり方ではうまくいかない子供もいます。もし、つまずいている場合、自分に合った学習のやり方を一緒に見つけてあげることも大人の役目でしょう。

※「こころのお便り」は、情緒通級の現役教諭が原稿を書き、深大出版で編集しています。

子育てに悩む保護者の方、児童を理解したい先生等どなたでもプリントしてお使いいただけます。